

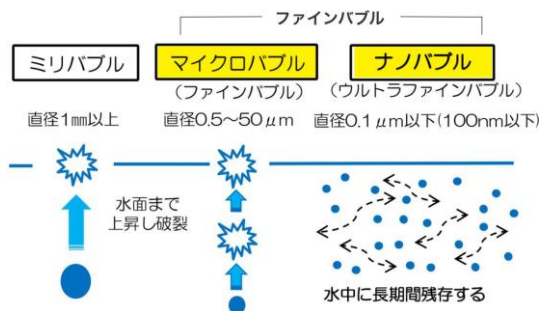
根活

農作物の生産性を高める
ナノバブル植物活性水

ナノバブル水とは

通常の泡(バブル)に比べ約1/10,000の大きさである直径0.1 μm (100nm)以下の泡を“ナノバブル”または“ウルトラファインバブル”と呼びます。(※1mm=1,000 μm)

ナノバブルは長期間残存する性質があり、ナノバブルが含まれた水は「栄養素の集積や運搬を高める」特性を持ち、「作物の栄養吸収を促進させる」効果から、**収量の増加**や**品質の向上**につながります。

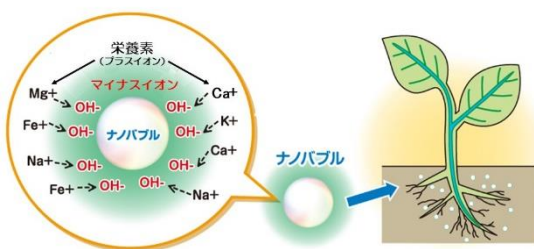


ナノバブル水が選ばれる理由

POINT
01

栄養素を引き寄せる！

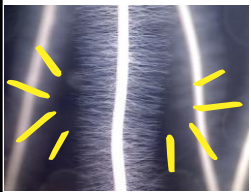
マイナス電荷を帯びた微細な気泡は土壌中にあるプラスの電荷を帯びた栄養素(カリウム・カルシウム・マグネシウム・鉄・ナトリウムなど)を引き寄せる力があります。細胞に対して高い浸透性を持つナノバブルが栄養素の効率的な供給を行っていると考えられています。



POINT
02

根っこに違いが出ます！

健康な作物を育てるには丈夫な根っこを作ることが重要です。ナノバブル植物活性水を与えた根は水道水と比べると一目瞭然！ **根の長さ、密度、はりに**差が出ます。しっかりした根っこができることで肥料吸収が促進されて「成り疲れ、株疲れの回避」、「厳寒期、高温期の生育改善」、「チップバーンの減少」などの効果が得られ、「**安定した収量の確保**」や「**秀品率の向上**」につながります。

毛細根の密度に差が出ます		根の張りに差が出ます		チップバーンの抑止効果は顕著です	
ナノバブル植物活性水(根活)	水道水	ナノバブル植物活性水(根活)	水道水	ナノバブル植物活性水(根活)	水道水
					
カイワレの毛細根		かぼちゃの根っこ		レタスのチップバーン比較	

POINT
03

「安心・安全」使い方も自由自在！

水と空気から出来ているナノバブル水は「安心・安全」。いろいろな使い方が可能です。灌水タンクや養液タンク、液肥タンクなどで簡単に希釈してご利用いただけます。

商品紹介

< ナノバブル植物活性水 >

※消費税別途



品 番	販売希望価格	容 量	外 寸
K-20L	3,500円	20 ℓ (20kg)	W300 × D300 × H300(mm)
K-20LC	4,000円		

※K-20LCはレバーコック付き商品です。

◇冷暗所で1年間の有効期間です。直射日光、高温、凍結を避けて保管してください。

◇送料は1箱毎に掛かります。関東：800円～ 北海道：1200円～

< ナノバブル水製造装置 > N E G S (全自動製造 + 凍結防止ヒーター付き)

※消費税別途

				
	A50-SH	A100-SH	A200-SH	A300-SH
外 寸	W700 × D600 × H1000	W850 × D650 × H1000	W1100 × D1100 × H1000	W1200 × D1100 × H1000
容 量	50 ℓ	100 ℓ	200 ℓ	300 ℓ
重 量	40 (kg)	42 (kg)	46 (kg)	55(kg)
電 源	AC100V (50Hz/60Hz)			
定 格	150W (186W)	150W (186W)	200W (236W)	250W (298W)
販売希望価格	750,000 円	860,000 円	1,200,000 円	1,700,000 円
送 料	30,000円～150,000円 ※配送地域、装置のサイズによって異なります。			

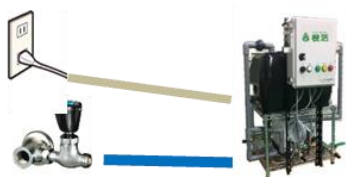
◇ ご要望に応じた仕様もご用意させていただきます。

◇ 設置に関わる費用は別途お見積りとなります。

< 使用上の注意 >

100V電源、給水栓の確保

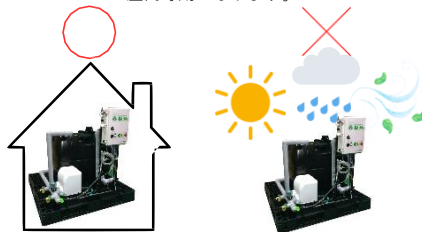
給水元と100V電源がご用意できる場所に設置してください。



異物の無いきれいな水をご使用ください。

屋内設置

屋内専用となります。



水平の確保

平坦で安定した場所に水平に設置してください。



お客様の声

■神奈川県(いちご生産者様)
知人の勧めもあって試しに使用したところ、**株が元気になり花が途切れない**ので驚いている。育苗期にも使用しているが、肥料の吸収が良く、苗の育ちが良い。



■山梨県(トマト生産者様)
使っていると玉伸びが良く、収量も落ちない。継続的に使うために製造装置を導入した。近隣の生産者の収量が落ちている時でも**安定した収量が維持できる**ので、ナノバブル水の効果だと感じている。

《お問合せはこちら》

株式会社ヤザワ環境エンジニアリング TEL.03-5615-1673

FAX.03-5744-7158

本社：東京都荒川区東日暮里1-32-6 CROSS ビル



Kon-Katsu

根活